

ポスター報告 21

竹田 保 特定非営利活動法人ホップ障害者地域生活支援センター

中岡 良司 特定非営利活動法人ホップ障害者地域生活支援センター

#報告題目 ナチスドイツによる障害者大虐殺の現場 – 優生思想の恐怖 –

#報告キーワード ナチスドイツ 虐殺 優生思想

#報告要旨

第二次世界大戦の開戦と同時に、ヒトラー率いるナチスドイツは優生思想に基づき約 20 万人の障害者を安楽死させた。この作戦は後に T 4 作戦と呼ばれ、その行為は本人あるいは家族の同意なく強行されたものであり国家による民衆の大量殺人であった。

T 4 作戦で培われた効率的な殺人技術は、後にポーランドの捕虜収容所へ継承され、約 600 万人のユダヤ人を大虐殺(ホロコースト)するに至った。

戦後、新生ドイツはこれらナチスの戦争犯罪を記念館や記念碑という形で記録してきた。フランクフルト近郊に位置するハダマー精神病院は T 4 作戦の虐殺の現場であり、記念館として残され非人道的な行為を今日まで伝え続けている。

本ポスター報告は、2017 年に訪問したハダマー記念館の紹介であり、優生思想の恐怖を訴えるものである。